記者発表資料

地域を“みず”から守る。
東北流域治水

令　和　８　年　１１　月　６　日

国土交通省　宮城南部復興事務所

令和８年１１月１２日（木）
第９回「阿武隈川水系 内川流域 土砂・洪水氾濫対策技術検討会」開催
～遊砂地の維持管理について専門家から技術的助言をいただきます～

宮城南部復興事務所では、「阿武隈川水系 内川流域 土砂・洪水氾濫対策技術検討会」において「遊砂地の施設計画、構造及び維持管理計画」について専門家から技術的助言をいただき事業を実施しております。

第９回となる今回は、前回検討会（令和７年２月１２日）に引き続き、内川遊砂地、五福谷川遊砂地及び新川遊砂地の維持管理について、専門家から技術的助言をいただく予定です。

◆開催日時：　令和８年１１月１２日（木）14：30～16：30

◆場　所　：　仙台合同庁舎Ｂ棟２Ｆ　共用第２会議室

＊カメラ撮りは、委員長による冒頭挨拶までとし、その後は検討会終了後の委員長への囲み取材時に限ります。

◆取材を希望される場合は、メールにより事前にお申込みください。

取材申し込み期限：令和８年１１月１０日（火）１２：００まで

申 込 先：　thr-miyaginanbu-mi@mlit.go.jp

〔メール記載(例)〕　メール件名：261112 技術検討会

１１月１２日開催の技術検討会取材を申し込みます。

・取材者代表者の所属、役職、氏名、連絡先

・取材者の人数　　（カメラマン、音声担当等も含めた総人数）

◆事前申し込みのうえ、当日は仙台合同庁舎Ｂ棟　２Ｆ共用第２会議室前　にて受付をお願いいたします。　　当日の受付時間　１３：５０～１４：２０

【発表記者会】仙南記者クラブ、宮城県政記者会、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会

【問い合わせ先】
国土交通省 東北地方整備局 宮城南部復興事務所
宮城県伊具郡丸森町字除北 20 番地
TEL 0224-51-8290（代表）
副所長　　宍戸　博文(ししどひろふみ)（内線 204）
建設専門官　三浦　努（みうらつとむ）（内線 401）

〔別添〕

【本検討会の設立趣旨】本検討会設置要領より

（趣旨）

第１条　阿武隈川水系内川流域では、令和元年東日本台風において、土石流及び土砂・洪水氾濫により甚大な被害が発生したことから、特定緊急砂防事業により、河川計画と整合のとれた一定の砂防計画に基づく、短期的、集中的な土砂・洪水氾濫対策を令和２年度から実施している。

本検討会では、阿武隈川水系内川流域の土砂・洪水氾濫対策に係わる計画、設計、施工等について、専門的知見から技術的助言をいただくことを目的として、阿武隈川水系内川流域 土砂・洪水氾濫対策技術検討会（以下「検討会」）という。）を設置する。

【本検討会委員】

井良沢　道也	岩手大学　名誉教授（委員長）
内田　太郎	筑波大学　教授
小森　大輔	東北大学　特任教授
鈴木　啓介	国土技術政策総合研究所　土砂災害研究部　砂防研究室長
鈴木　善友	宮城県　土木部副部長
栁沼　久喜	宮城県　大河原土木事務所長
菅原　利幸	東北地方整備局　河川部　河川保全管理官
小山内　慶	東北地方整備局　宮城南部復興事務所長

（順不同）

【これまでの検討会】

回	開催日	主な議題
第１回	R3.9.3	遊砂地構造
第２回	R3.12.9	遊砂地構造
第３回	R4.3.14	遊砂地構造
第４回	R4.7.29	遊砂地構造
第５回	R4.11.8	遊砂地構造・遊砂地維持管理
第６回	R5.3.2	遊砂地構造・遊砂地維持管理
第７回	R6.2.6	遊砂地維持管理
第８回	R7.2.12	遊砂地維持管理